

情報提供

島根原子力発電所 新規制基準適合性審査の状況ほか

2023年10月23日

中国電力株式会社

1. 新規制基準適合性審査状況

【島根2号機】

- 工事計画認可申請については、「計495回」のヒアリングおよび「計9回」の審査会合が実施され、「計9回」の補正書を提出しました。
- 安全対策工事の完了予定時期については、当社として必要と考えている工事にかかる期間を一定の想定の下で算出し、2024年5月としています。
- 2023年8月30日、工事計画認可申請について、原子力規制委員会から認可を受領しました。
- 2023年9月11日、使用前確認申請書を原子力規制委員会へ提出しました。
使用前事業者検査の工程においては、再稼働に係る工程を以下のとおりとしています。
 - ・2024年6月：燃料装荷開始
 - ・2024年8月：原子炉起動
 - ・2024年8月：発電機並列（再稼働）
 - ・2024年9月：営業運転再開

(2) 島根原子力発電所の新規制基準適合性審査状況

【特定重大事故等対処施設(以下、「特重施設」という)】

- 2023年8月29日、原子力規制委員会(石渡委員他)による現地調査が実施されました。今回は、特重エリアにおける地質調査により新たに確認されたシームについても、ボーリングコア、掘削面等を確認いただき、2号機本体設置許可審査で説明したシームと同様の性状であり、将来活動する可能性のあるものではない旨を説明しました。

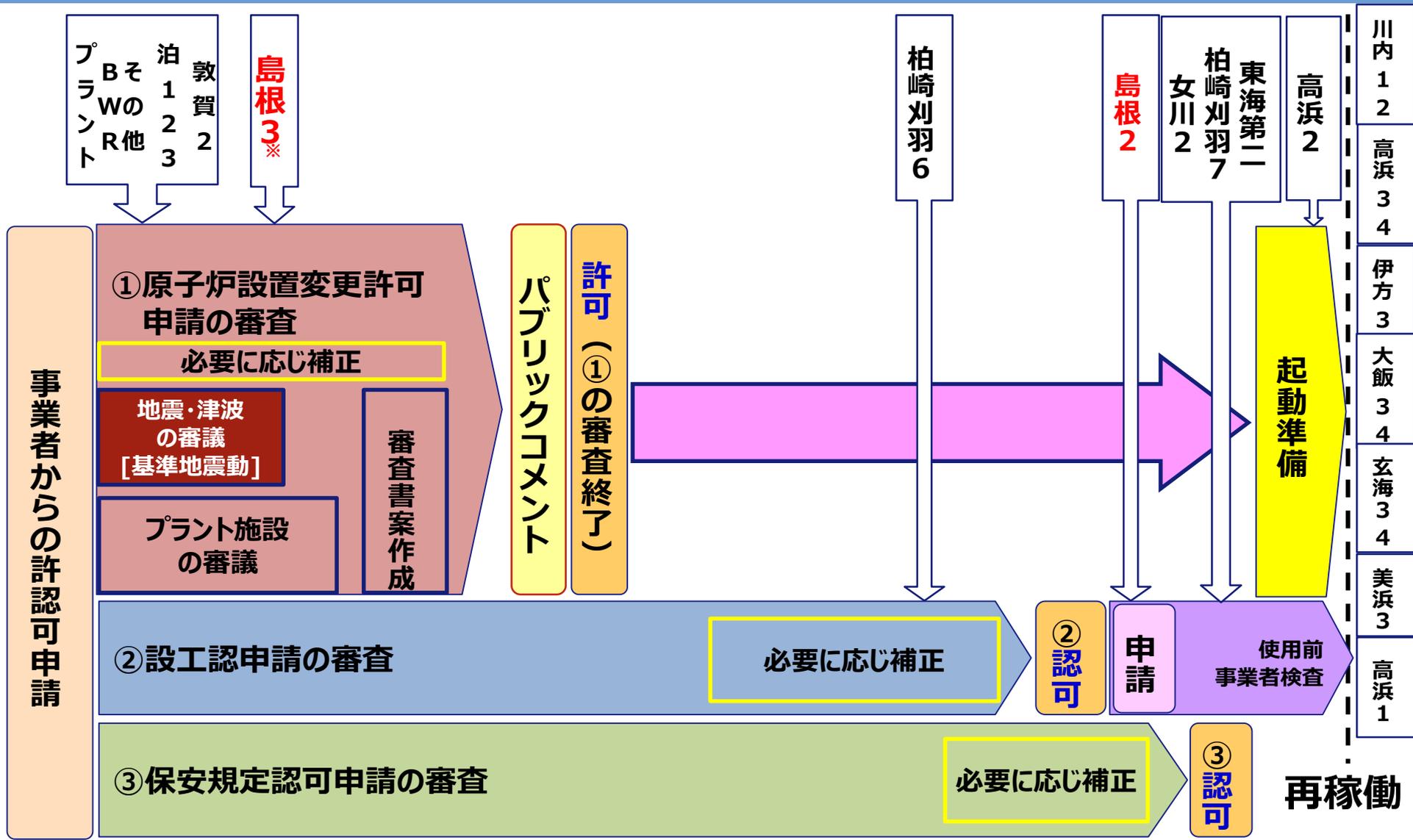
【島根3号機】

- 2022年6月29日、補正書(2回目)を提出し、津波や火山などの自然災害の評価について、2号機の原子炉設置変更許可内容の反映等を行うとともに、2号機、3号機ともに燃料装荷することを前提とした原子力防災体制等の見直しを行いました。
- 補正後、適宜ヒアリングが実施され、9月に補正後初となる審査会合が開催されました。
- 現在は、解析コードの審査を中心に進められており、これまで審査会合は6回実施されています。

(3) 新規制基準適合性審査に係る審査状況

2023年10月13日時点

(注) 再稼働までの流れは先行電力の実績を参考に記載



※: 島根3号機の設計および工事計画認可, 保安規定認可については別途申請

2. 島根1号機の廃止措置状況

(1) 廃止措置計画に係る事前了解願いの提出等について

- 2023年8月8日、島根1号機の廃止措置における全体工程の見直しおよび原子炉本体周辺設備等解体撤去期間(第2段階)の具体的な作業に係る計画を策定し、今後、原子力規制委員会に変更認可申請を行うため、関係自治体に安全協定に基づく廃止措置計画に係る事前了解願いの提出等を行いました。

<主な変更点>

- 原子炉本体周辺設備等解体撤去期間(第2段階)の延長
再処理施設の竣工時期見直し等を踏まえ、使用済燃料の搬出及び譲渡し期間を確保するため、第2段階を6年間延長(2029年度⇒2035年度)する。
また、炉内試料採取実施による放射能量評価の更なる精度向上を図るため、第2段階も引き続き、汚染状況の調査を実施する。
- 建物等解体撤去期間(第4段階)の短縮
建物等の解体について、解体工事の同時施工や今後得られる先行プラントの廃止措置実績や技術開発等による工事の効率化を図ることで工程短縮の余地があることから、現行工程(8年間)から2年間短縮する。



(2) 主な理解活動の実施状況について

島根1号機の廃止措置(第2段階)の作業内容や、島根2号機の状況など地域の皆さまへご説明するため、関係6市の計7会場において、当社主催の説明会を開催しました。

- ✓ 放射性廃棄物の管理方法、原子燃料サイクル等について、ご意見・ご質問を頂いた。
- ✓ 説明会の配布資料や議事録・会場で投函いただいたご質問への回答を、当社HPで公開予定。

(一般参加者 延べ 241名)

開催日 (2023年)	会場	一般参加者数
8/31(木)	松江市(鹿島文化ホール)	33名
9/ 2(土)	松江市(くにびきメッセ)	64名
9/ 5(火)	雲南市(チェリヴァホール)	17名
9/ 6(水)	出雲市(ビッグハート出雲)	31名
9/ 8(金)	境港市(シンフォニーガーデン)	31名
9/12(火)	米子市(コンベンションセンター)	41名
9/14(木)	安来市(アルテピア)	24名

